

## 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学学長選考会議（第50回）議事要録

日 時 令和元年6月20日（木）10：40～12：05  
場 所 北陸先端科学技術大学院大学 本部棟2階 中会議室  
出席者 平澤議長  
浅野学長，相澤委員，加藤委員，澁谷委員，寺野委員，永井委員，黒田委員，  
丹委員，川西委員，神田委員，上原委員，村田委員，塚原委員  
陪席者 三宅監事

議事に先立ち，事務局から，委員の交代及び本日の委員の出席状況について報告があった。また，議長から本日は学長との意見交換を行うため，学長に御出席いただく旨説明があった。

また，第48回（平成31年3月15日開催）の議事要録（案）及び平成49回（平成31年4月18日開催）（書面付議）の議事要録（案）を確認した。

### 議 事

#### 1. 次期学長選考の進捗状況について

議長から，次期学長選考に向けての進捗状況について，5月22日に学内の教職員を対象に開催した「新たな学長選考方式」及び「学長像に相応しい人材の探索」に係る説明会について報告があった後，新田事務局長から学内での公示実施状況について報告があった。

#### 2. 学長との意見交換について

議長から，学長との意見交換の進め方について説明があった。

引き続き，学長から，平成30年度の業務執行状況について説明があり，監事から意見を聴取した後，意見交換及び質疑応答を行った。

##### （1）監事からの意見

学生獲得の様々な方策を学長自らが率先して立案し，平成28年度以降ほぼ安定して定員を確保していることは特筆に値する。一研究科体制とし，多様な領域をまたいで自由に講義を履修できる魅力的なシステムを整備したことは，質の高い優秀な学生の確保に繋がると期待できる。

また，新年俸制の導入は，業績ベースの給与制度により優れた業績を挙げている優秀な教員の獲得に繋がることが期待でき，更に今後ブラッシュアップしてもらいたい。

企業との連携による学生の教育効果の向上や博士後期課程学生の確保という斬新な産学連携の方策を打ち出し，また博士前期課程では留学生と日本企業とのマッチングも図っており，これらは更に発展させてもらいたい。

今後，エクセレントコアが国内外の研究者を巻き込んだ新しい産業分野の創設に繋がるプラットフォームとして発展するよう戦略的にバックアップしてもらいたい。

一方，教員の研究成果を社会にアピールするプレスリリースの件数が非常に少なく，特定の教員に限られている。また，教員の配属学生数に大きな差が見られる。全教員が

モチベーションを高められるような働きかけを強く進めてもらいたい。

(2) 意見交換

- 学生の確保についての取組みは成功してきているが、学生の修了後の進路について、過去10年間でどのように変化してきたのか明示されていない。入口だけでなく出口についても定性的にではなく定量的に示して分析・検討する必要がある。
- JAIST 創設時の大きな目標と現状について考える必要がある。過去10年間でどのように発展してきたのか、今後どこに向かうべきか、世界のトップレベルの研究大学を目指すという方向性等が明確に見えない。日本全体の改革の方向に対して、JAIST の果たすべき役割について認識する必要がある。
- 平成28年度から平成29年度にかけて、教授が増え、助教が減少し、平成30年度には講師が増え、助教が微増している。若手教員の比率が低下し、教員の高齢化が見られる。若手教員比率を上げるよう改革を実行する必要がある。
- 問題解決していくアイデアが次々と生み出せる柔軟な研究者を養成することが必要である。新しいアイデアは学際性が育てるものであり、JAIST は一研究科になり、学際的な雰囲気生まれつつある。JAIST は今後更に率先して大学改革を行い、他大学の見本となって欲しい。

以上